

2017 目黒区美術館 館長トークII

インドやその周辺には、世界遺産に登録された遺跡が数多くあります。第2回目となるこのプログラムでは、インド仏教美術を研究するため現地に留学し、多様な文化に触れた秋山光文館長が、自ら撮影してきた貴重な画像の数々とともに、3つの世界遺産を持つ造形的な価値と、歴史的・宗教的背景などについての魅力を、幅広い観点から語ります。

インドと周辺の 世界遺産をめぐる

講師…目黒区美術館館長

秋山光文てる しみ

●会場

目黒区美術館 ワークショップ室

●対象

高校生以上(各回定員50名)

聴講無料、要申込

7月31日(月)から申込開始

(*募集開始以前の申込は無効になります)

●申込方法

*メール、ファックスまたはハガキに、希望講座名と開催回、お名前(ふりがな)、年齢、ご住所、電話番号(昼間に繋がる連絡先)、お持ちであればメールアドレスを明記の上、下記までお申し込みください。
*メールでのお申し込みの場合は、件名に「館長トーク」とご記載ください。
*募集開始日から先着順に受け付け、お申し込みいただいた日から7日目を目途に、受付の返信をいたします。
*申込を締め切る場合は、当館ホームページにてお知らせいたします。

●申込・問い合わせ先

目黒区美術館
住所: 153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36
電話: 03-3714-1201(代表)
内容についてはこちらへ: 03-3711-9558(学芸)
メールアドレス: mmat-event@mmat.jp
ファックス: 03-3715-9328

●問い合わせ先

電話: 03-3714-1201(代表)
内容について: 03-3711-9558

第1回

8月23日[水] 18:30-19:45

バーミヤン渓谷
—失われた大仏をめぐって



長期間に亘るアフガン紛争のなかで、過激派組織タリバーンによって、2001年に破壊された古代遺跡群は、アフガニスタン、ヒンドークシュ山脈の山中の標高2800mほどの高地に位置します。1-13世紀にかけ1000以上もの石窟が開かれ、高さ55mと38mの大仏を刻出した岩壁の天井には、インド美術やペルシア美術の影響を受けた壁画が描かれています。

第2回

8月30日[水] 18:30-19:45

エローラ石窟 カイラーサナータ寺
—岩山から切り出されたヒンドゥー寺院

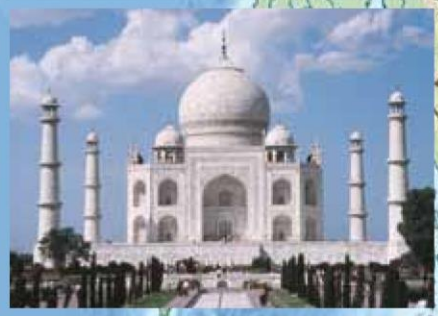


ムンバイの北東に位置するエローラ石窟に8世紀に造営されたカイラーサナータ寺は、ヒンドゥー教の神シヴァが住むカイラス山をイメージしているといえます。壁にはヒンドゥー教神話「ラーマヤナ」や「マハーバーラタ」の精緻なレリーフや数々の神像が彫られています。

第3回

9月2日[土] 14:00-15:30

タージ・マハル廟 王妃のための愛の証
—インド・イスラーム美術の粋



インド北部のアーグラにある白亜の墓廟は、17世紀、ムガル帝国第5代皇帝シャー・ジャハーンによって最愛の妃ムムターズ・マハルのために、22年の歳月を費やして建てられました。建築や庭園、墓廟本体を飾る色とりどりの寶石を嵌め込んだアラベスク文様など、インド・イスラーム文化を代表するものです。